

ONE PIECE FOR R.E.D

2024 (令和6) 年4月10日 (水)

1 ピース 一人ひとりが明日を考えていこう! 「しあわせになろう」

小学校の6年間、中学校の3年間、これまでの9年間を義務教育といい、誰もが教育を受けることのできる期間で、これからの社会を担う一人ひとりの「人間力」を養う期間でもありました。では、みんなの1年後はどうなっていくのか。多くの人が高等学校への進学という進路を選択します。より高度な学習内容を身につけ大学進学を目指したり、専門的な学びによって資格を取得したりすることができます。自分がどんなことをしたいのか、一人ひとりの思いによって進路を絞り、実力をつけていくことが大切です。

ただ、この進路選択で人生が決まるわけではありません。今まで決まっていた義務教育というレール (Rail) から、自分で選択して様々な事をさらに経験 (Experience) して、将来の自分自身の方向 (Direction) を決めていくのが高等学校です。

では、高等学校と中学校は何が違うのか?

①校区の広さ

公立は第3学区または兵庫県内が学区、私立は日本全国から受験可能。

②学習の専門性が高まる

例) 国語→「現代の国語」「古典」 数学→「数I」「数A」「数II」「数B」
社会→「日本史」「世界史」「地理」「倫理」「政治経済」など

③生活面での自由度が高くなる

部活やバイト (学校によっては許可制)、趣味など放課後の時間が自由に。

しかし、自由の裏には責任が。出席日数や成績によっては進級できないことも。

④高校にはそれぞれの特徴がある

専門学科だけでなく、それぞれの学校のアピールポイントがあります。

まずは、自分がどんなことが好きなのか、何を大切にしたいのかを考え、色々な高校を見ていくことが大切です。

当面の予定 1学期は「知る」、2学期は「選ぶ」、3学期は「進む」

4月	実力考査 (10、11)	進路学習
5月	中間考査 (15、16)	個人面談、各自で高校見学へ行こう!
6月	期末考査 (19~21)	進路説明会 (10)、第2回目進路希望調査
7月		三者懇談 (10、11、16、17)
8月	公立、私立とも1校ずつ見学に行こう!	

さて、今年はテストが9回あります

4月：実力考査	5月：1学期中間考査	6月：1学期期末考査
8月：実力考査	10月：2学期中間考査	11月：実力考査
1月：実力考査	2月：学年末考査	2学期期末考査

それぞれのテストが試験までの準備になります。入試当日に落ち着いて受検できるように、日ごろからルールをしっかりと守りましょう。

テストの心得2024

～受け方について～

- 座席は6列、男女混合の出席番号順にならぶ。(自分の座席ごと移動する)
- 机の上には、その教科のテストで使用する筆記具のみ。その教科のテストで使わないものや筆箱、下敷き等は荷物と一緒に後ろのロッカーに入れ、机の中には何も入れない。(体育館シューズなども机の横に掛けない) 欠席生徒の机においても同様とする。
- 定規は、必ず直定規を使用。
定規のカバー、コンパスのケース、消しゴムのカバーなどは筆箱同様、ロッカーもしくはカバンにしまう。(入試に準ずる) ※シャーペンの芯入れも×
- テスト中は、問題用紙や鉛筆などの筆記具は机の中に入れてない。
- 問題用紙は試験監督の先生の「送りなさい」の合図で裏を向けたまま静かに後ろに配る。
- 問題用紙は、試験監督の指示があるまで勝手に触らない。
- 試験監督の「始めなさい」の合図で一斉に始める。
- 答案は、ていねいな字で書く。
- 解答用紙にはまずクラス・出席番号・名前 (漢字で書く) を記入する。
- 質問がある場合、用紙や筆記具を落とした場合、体調が悪くなった場合などは、静かに手を挙げ試験監督の先生の指示に従う。
- 配布中、テスト中、回収中は一切私語をせず、キョロキョロしない。
- 試験監督の先生の「終わりなさい」の合図で鉛筆を置く。
- 列の一番後ろの人が、すばやく出席番号順になるように解答用紙を表にして順番に重ねて集める。
- 試験監督が、解答用紙にクラス・出席番号・名前が記入されているか、出席番号順になっているのかを確認後、終わりのあいさつを行う。
(生徒は静かに待つ)
- 不正行為 (カンニング) またはそれに準じる行為は一切しない。
不正行為があった場合は、不正行為があったテストを無効とする。

入試では回答用紙は返ってきません。字が汚くて×になっているかも…。誰が見ても判別できる字で答えましょう。